

東京社保協ニュース

東京社会保障推進協議会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-33-10
東京労働会館6F

tel03-5395-3165 fax03-3946-6823

東京社保協

検索

くらしを守る取り組みを広げよう

1月31日、第43回総会をけんせつプラザ東京で開催しました。総会には、21団体53人37地域100人など162人が参加し、この間の各団体・地域での取り組みの報告が語られました。

総会では、たたかひの総括と「憲法25条を活かし、権利としての社会保障制度の確立と安心してくららせる東京を！」、「地域住民の要求に寄り添い、いのち、くらしを守る取り組みを広げよう！」をスローガンにした運動方針とたたかう体制を確認しました。あわせて、「社会保障制度改革推進法」の具体化と「消費税の増税」「生活保護基準の切り下げ」阻止、憲法25条を活かし、安全・安心、福祉の東京へ地域から運動を広げようの総会アピールを全体で確認しました。



総会議長団 (左から塚本さん、西川さん、岸田さん)

都議会開会日行動

2月20日、都議会第1回定例会が開会。都民連、東京地評、東京社保協主催の開会日行動を開催し、約300人が参加し都庁前でのアピールと請願行動を行いました。

の早急な制定を。新日本スポーツ連盟は「東京オリンピック開催計画に異議あり」などの発言があいつぎました。激励のあいさつに立った



開会のあいさつに立った東京地評の伊藤潤一議長は、中小企業の支援や医療・福祉など都民生活を応援する都政に転換するよう呼びかけました。東京医労連は「生活援助時間が短縮され、利用者へ寄り添う介護が困難になっており、介護保険制度の緊急改定が必要だ」東京土建は、公共工事の品質向上と中小業者の経営の安定につながる公契約条例

猪瀬知事の所信表明を傍聴して

猪瀬新知事が約1時間の所信表明を行いました。その内容には、苦しい都民の生活を支援する施策の提案は無く「日本の沈没を防ぐのは東京しかない」「時代遅れの規制を撤廃」など石原都政継承そのものでした。また、自助・互助を強め「社会保障制度改革推進法」の具体化を強調するなど都民に背を向ける内容でした。

【前沢次長談】

第43回総会を開催

東京社会保障推進協議会
第43回総会
2013年1月31日(木) 於: けんせつプラザ東京



また総会に先立ち、記念講演として、渡辺治(一橋大学名誉教授)さんが、「総選挙・都知事選の結果から情勢をどうみるか」と題して講演を行いました。講演では、私たちが今後どう立ち向かえばいいのかの運動の課題などについて、熱く語られました。



「推進法」の具体化許さず、安心して暮らせる東京へ

生活保護基準の引下げ阻止など採択

東京社保協第43回総会は、松丸副会長が開会あいさつに立ち、「会場いっぱい集まった参加者に対し、この間の各団体地域での奮闘に感謝するとともに、引き続き、都議選や参議院選挙をにらんで、社会保障制度の改悪を許さないたたかいに取組んでいただきたい」とあいさつしました。



あいさつする竹崎会長

本共産党からは小池晃さんと大山とも子都議会議員から連帯と激励のあいさつをうけました。また、神奈川・千葉・埼玉の県社保協、富士敬子、西崎光子都議会議員からメッセージが寄せられました。前沢事務局長が、11年度活動報告と12年度方針を提案、寺川事務局次長から、決算報告と予算案の提案と国保自治体アンケートについての説明が行われ討論に入りました。



あいさつする松丸副会長

各分野で多彩な取り組みを

安倍政権が誕生し、益々出番というか正念場を迎えています。内閣は、軍事大国化・構造改革路線を推し進め、その第1弾として生活保護基準の切り下げに着手しました。中央社保協は、憲法違反の「改革推進法」を廃止しるの署名に取り組みます。それを成功させるために、各分野から多彩な取り組みを強化しましょう



生存権を守り抜くために取り組みましょう

小池晃 日本共産党政策委員長

東京社保協が、全都でくらしといのちを守るためのその先頭に立ってたたかっていることに対して敬意を表します。自公政権は、危機突破内閣と言っていますが、実際は危機突入内閣と言っていると思います。安倍首相の所信表明を聞いても、安倍内閣は危機打開策を持っていません。それは、今の危機を作ったのが自民党政権だったからで、反省しない以上打開策は出てきません。今の危機を打開するには、まずは消費税の増税を中止し賃金を引き上げ、雇用を作り出すことです。社会保障打開のたたかいはまったなしです。参議院選挙を待つのではなく今からたたかうことが必要です。憲法25条を守り発展させることは社保協の使命だと思います。生存権を守るり抜くためにともにたたかきましょう。



都民の福祉を守り抜くために取り組みましょう

大山とも子 都議会議員

東京社保協が、住民の実態を粘り強く把握して運動につなげ、大奮闘されていることに対して敬意を表します。また、知事選後の議会は開催されていませんが、新年度予算の「アクションプログラム」を見ると、31%が幹線道路や東京港な港湾関係などの費用で、高齢者対策は3%、少子化対策2.4%になっており、石原都政より低い内容になっています。都民のくらしが大変になっている現在、12兆円を超える予算を、都民のくらしと福祉を充実させることに使わせるために、今年も全力をあげていきます。



7団体5地域が討論に参加



まよめの報告に立つ前沢事務局長

討論では、東京保険医協会、年金者組合、福祉保育労、東京医労連、東京公害患者と家族の会、都老協、都生連の7団体、文京、西多摩、板橋、練馬、渋谷の5地域社保協から発言があり、2012年度活動報告と2013年度活動方針を深める討論が行われました。討論のまとめに立った前沢事務局長は、総会での討論を通じて、生まれた時から予防接種で格差が持ち込まれる（保険医協会）、低年金高齢者の尊厳が失われてきている（年金者組合）などなど、地域での深刻な実態、貧困の広がりがあります。ますます明らかになったこ

と。そして、社保協のたたかう課題が山積していることが共有できたこと。そして、地域社保協が中心になって粘り強く取り組みが行われてきたこと。しかし、私たちの要求実現のために、権利としての社会保障の立場をしつかりと学んで実践して行こうとまとめました。



役員提案する松本副会長

最後に、2012年度活動報告、2013年度方針、決算・予算、2013年度役員選出と「総会アピール」を採択し、福井典子副会長のあいさつで閉会しました。



閉会あいさつする福井副会長

総会に寄せられたメッセージ

東京社会保障推進協議会
第43回総会によせて

第43回定期総会の開催、おめでとうございます。

石原前都知事の唐突な都政の投げ出しにより、猪瀬氏が新都知事になり、2013年度予算原案が発表されました。福祉と保健が初めて1兆円を超えたことがマスコミ等で大きく報道されましたが、高齢化に伴う自然増が多く、細かいところまで目がいきどわしているとは言えません。

こういう都政の現状を変えるには、大きな市民運動の力が必要です。東京社会保障推進協議会の総会がその大きな契機になることを願っています。

当日は先約がありお伺いできませんが、皆様のお気持ちが生かされる都政を、一緒につくっていきましょう。

東京都議会議員 自治市民'93
代表 福士敬子(ふくしよしこ)

都議会生活者ネットワーク・みらい
西崎光子

東京社会保障推進協議会第43回総会の開催を、心からお喜び申し上げます。

年末の総選挙・都知事選挙後、新政権・新都知事は猛烈な勢いで政策を回転し始めました。デフレ脱却の名のもとに、金融緩和と公共事業の大盤振る舞いは、一時的には不安から国民の目をそらせることになっていますが、膨大な借金財政が将来世代に重い負担となるのもそう先のことではありません。経済優先で安易に原発再稼働に舵を切ろうとする政財界に対し、放射能汚染によって故郷を離れ、家族がバラバラに暮らす被災地の人々を思いを一緒にして、エネルギー政策の転換と安心・安全なまちづくりをすすめていかななくてはなりません。

東京においても、4人に一人が高齢者という超高齢社会を目前に、医療や福祉を充実し、若者や働く人々が活気と取り戻す政策を進めていきたいと思えます。

皆様の活動がますます発展されますよう、併せて皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

低所得・多人数世帯を直撃する23区国保料案(介護分脱)

●年金収入、65歳2人暮らし世帯			
年取	2013年度	2012年度	2011年度
200万円	105,532	104,317	101,863
250万円	163,892	162,947	158,273
300万円	205,692	205,497	198,723

●給与収入、30代夫婦と子ども1人の3人世帯			
年取	2013年度	2012年度	2011年度
200万円	206,884	204,379	199,681
250万円	236,144	234,164	227,996
300万円	298,524	296,109	288,231

各区で国保運営協議会が開催され、3月議会で条例改正が行われます。均等割を引き上げるため、法定軽減世帯も含めて、低所得世帯と多人数世帯が主に負担増

23区連続国保料値上げ

特別区長会は、2月15日に2013年度の国保料について、均等割を1200円引き上げ、所得割を0.15%引き上げた上で、「経過措置」を打ち切り、住民税非課税世帯だけを対象とした軽減策を2年間に限って実施する案を認めました。

この案を受けて、各区で国保運営協議会が開催され、3月議会で条例改正が行われます。均等割を引き上げるため、法定軽減世帯も含めて、低所得世帯と多人数世帯が主に負担増

また、「経過措置」が廃止されれば約35万世帯(国保加入世帯の約20%)が影響を受けると思われます。

低所得層を直撃する値上げは、滞納の増加と受診手控えを増加させることになり、都民の健康と命を脅かすことになり

2013年度東京社保協役員

会長	竹崎	三立	再	東京保険医協会
副会長	本條	秀典	再	東京地評
事務局長	南丸	久芳	再	東京民医連
事務次長	松丸	雄一	再	東京土建
常任幹事	堀口	和男	再	年金者組合都本部
	高柳	典子	再	東京自治労連
	福井	慎二	新	渋谷社保協
	寺川	和義	再	東京土建
	相本	晴彦	再	東京民医連
	塚本	淑子	新	東京地評
	前村	秀実	再	東京民医連
	木西	学	再	東京保険医協会
	斎藤	隆行	再	東京医労連
	植松	誠太郎	再	東商連
	北川	光三郎	再	東京国公
	佐田	也	再	東京土建
	岸田	久恵	再	障都連
	吉野	五郎	再	都生連
	森松	伸治	再	都教組
会計監査	渡辺	吉明	新	葛飾社保協
			再	北区社保協
			再	東京歯科保険医協会



役員紹介とあいさつする竹崎会長

深沢	英一	再	東京歯科保険医協会
金沢	秋	再	年金者組合都本部
杉山	美恵子	再	東京自治労連
國米	秀明	再	福祉保育労東京地本
小嶋	博之	再	東京民医連
酒井	つる子	再	新婦人本部
坂本	光治	再	都老協
西川	勉	再	板橋社保協
岡本	卓郎	再	西東京社保協
(地域社保協
牧	英明	再	全労済東京

国会行動

▽国会行動と院内集会の予定

①3月の国会行動予定

3月27日(水) 13時30分～

*衆議院第1議員会館大会議室

②4月には東京独自の国会行動を予定

震災復興と原発ゼロの実現めざす

3.10東京集会

日程:3月10日(日)

時間:11:00～12:30

会場:日比谷公園草地広場(予定)

☆集会終了後、首都圏反原発連合の「原発ゼロ大行動」が開催されます。

会場:日比谷野外音楽堂

集会:13:00～

デモ:14:00～

*抗議行動(17:00～)

⇒東電前に集中します